

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 3 回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央 6 地区まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)		
開催日時		令和 8 年 9 月 1 0 日 (木) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 0 時 3 0 分		
開催場所		中央公民館大会議室		
出席者	委 員	1 4 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	3 人 (中央 6 地区まちづくりセンター所長ほか 2 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
議 題		1 開 会 2 連絡事項 相模原市次期総合計画策定に係る意見聴取について 3 議 題 (1) 地区まちづくりを考える懇談会について (2) 中央地区の課題に対する取組について 4 その他 令和 7 年度実施中央区地域活性化事業交付金事業まとめ誌の 配布について 5 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次の通り。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

鈴木会長よりあいさつをした。

2 連絡事項

相模原市次期総合計画策定に係る意見聴取については、まちづくり会議ではなく区民会議で実施される旨を事務局から説明した。

<主な意見・質疑>

○区民会議で意見聴取を行うことは理解したが、どのような内容で計画されて、どのような意見が出ているのかまちづくり会議で説明してもらえないのか。

⇒●まちづくり会議として希望があれば、担当課を呼んで説明してもらうことは可能である。

○区民会議には鈴木会長が参加しているので、会長から会議の内容について報告してもらえばよいのではないか。

⇒○出席するため、まちづくり会議で経過を報告する。

3 議題

(1) 地区まちづくりを考える懇談会について

懇談会の日程が希望していた令和9年2月20日に決定したが、実施するかどうかは今年度のまちづくり会議で決定することとしていた。役員会としては、懇談テーマが未定であること、現在、子どもの交通安全に関する取組を重点的に進めており、交通安全教室の開催も予定していることから、特に希望がなければ懇談会は中止としてよいのではないかと提案された。

<主な意見・質疑>

○せっかく子どもの交通安全に特化した話し合いを進めているので、交通安全教室の開催を優先し、懇談会は中止でよいのではないか。

【結果】

地区まちづくりを考える懇談会は中止とし、交通安全教室の開催を優先することが賛成多数で承認された。

(2) 中央地区の課題に対する取組について

《グループワーク》

事務局からグループワークの方法を説明したのち、3班にわかれて前回の続きである解決策についてワーキングを行った。

【グループワーク結果】

テーマ：「子どもの安全対策と地域の関わり方」

※前回の検討内容を含む

《1班》

選択した問題	地域・家庭での防犯対策が不十分
原因	・断熱、防音対策及びエアコン使用により窓を閉め切ることが多くなったことで外の音が聞こえにくくなり、周りに注意を払わない環境になった ・地域コミュニティの希薄化（顔の見える付き合いがない） ・教育に関する考え方の変化
課題	・地域行事への参加を促す ・家庭での防犯教育を促す ・地域活動を担う人を増やす
解決策	・あいさつ運動等、従来からの見守り活動を継続する

《 2 班 》

選択した問題	安心できない地域
原因	・時代や社会の変化により犯罪が起こりやすい環境になった ・地域コミュニティの希薄化
課題	・防犯設備を充実させる ・自治会の会員数を増やし、地域のつながりをつくる ・地域活性化に資するイベントの実施 ・地域が助け合う環境をつくる（共助）
解決策	・市に防犯カメラを設置してもらう ・地域イベント等で自治会活動についての広報、勧誘の実施 ・共助の取組として、防災イベントを実施する ・黄色いタオル等で安否確認ができる環境をつくる

《 3 班 》

選択した問題	地域の関係性が希薄であり、子どもに声かけ等することが不審者扱いされる可能性が高くなっている
原因	・自治会加入者が減少したことで、住民同士がつながる機会が少なくなった ・子ども会の解散等で子どもが地域に出る機会がなくなり、それに伴い親同士の交流もなくなった。 ・親が子どものために地域を支えるという意識が薄れた。 ・地域の防犯力が低下し、不審者が増えた
課題	・自治会加入率向上に資する地域イベントを開催し、住民同士がつながる機会をつくる ・見守り活動を行う人と不審者を見分けるアイテムを身に着ける
解決策	・従来のやり方を一部変える等により、若い人が参加したいと思えるイベント内容にする ・昨年度作成した見守り活動用サコッシュの認知度の向上 ・見守り活動用サコッシュの配布基準の明確化

<主な意見・質疑>

○見守り活動用サコッシュを身に着ける人が増えてきた。しかし、自治会掲示板を見ると周知用のチラシが大分色あせてきている。昨年度、地域活性化事業交付金事業としてチラシの配布及び回覧を1回実施してから再周知をしていないので、定期的に回覧や掲示を実施することで認知度が向上し、地域住民の意識啓発になるのではないかな。

○サコッシュ周知用チラシの残りはあるのか。

⇒●残りわずかのため、再度回覧・掲示を依頼するのであれば増刷する必要がある。

○子どもを狙うような人に見守り活動用サコッシュが渡ることは避けなければいけない。欲しいという人がいた場合に、どのような人なら渡してよいのかガイドラインのようなものが必要ではないかな。

⇒○今は自治会員、民生委員、社会福祉協議会や学校関係者など素性が確かである人に配布している。以前サコッシュを持っている人から、知り合いに渡したいと相談があった際は、渡した人の名前と住所を書いてもらうようにした。基本的には信頼できる人のみ、あるいはその知人のみという形で配布している。

《交通安全教室の開催について》

交通安全教室の概要案について、鈴木会長から資料に沿って説明し、内容について検討した。

<主な意見・質疑>

○体験できるコーナーがあるのは良い。

○各種予約の都合により、予備日は設けない。

【結果】

賛成多数により、以下の日程で開催することを決定し、内容等に変更が生じた場合は次回会議で報告とした。なお、啓発物品の内容については役員会に一任することが承認された。

◆開催日時：令和9年2月20日（土） 午前10時から正午まで

◆開催場所：中央公民館

4 その他

事務局から令和7年度実施中央区地域活性化事業交付金事業まとめ誌の配布について説明した。

5 閉 会

鈴木会長により閉会。

※10月の予備日は開催しない

以 上

令和8年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 泰信	中央地区自治会連合会	会 長	出席
2	古井 隆一	中央地区自治会連合会		欠席
3	鳥海 千秋	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
4	大橋 隆	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
5	浅野 耕市	中央地区老人クラブ連合会		出席
6	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
7	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
8	鍋倉 薫	中央地区防犯協会		欠席
9	後藤 和人	相模原交通安全協会		出席
10	武田 守弘	中央地区連合自主防災隊		出席
11	渋谷 和彦	中央小学校 PTA		出席
12	岡野 智博	弥栄小学校 PTA		出席
13	齋藤 麻里亜	富士見小学校 PTA		欠席
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
15	浦上 裕史	中央地区内商店街		出席
16	澤畔 正裕	中央地域包括支援センター		欠席
17	牛尾 良一	公募委員		出席
18	倉澤 良明	公募委員		出席